PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-100081

(43) Date of publication of application: 12.04.1990

(51)Int.CI.

G03G 21/00

(21)Application number: 63-254453

(71)Applicant: MINOLTA CAMERA CO LTD

(22)Date of filing:

07.10.1988

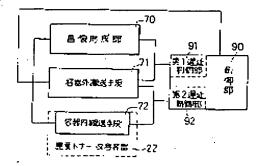
(72)Inventor: SUGIURA MITSUSHI

(54) IMAGE FORMING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent an operator and circumferential environment from being contaminated by discarded toner by stopping an out-container conveying means by delaying it a specified time after stopping an image forming part and housing the discarded toner which remains in the out-container conveying means in a discarded toner housing container.

CONSTITUTION: While the image forming part 70 is actuated, the out-container conveying means 71 is simultaneously actuated. The discarded toner is discharged from the image forming part 70 and the discarded toner discharged is conveyed to the discarded toner housing container 22 by the out-container conveying means 71. At the time of completing forming an image, the image forming part 70 is stopped. In such a case, a 1st delay control part 91 works and the outcontainer conveying means 71 is actuated more in the specified time, when the discarded toner conveyed by the out-container conveying means 71 is all housed in



the housing container 22. When the specified time passes, the out-container conveying means 71 is also stopped. Thus, the operator and the circumferential environment can be prevented from being contaminated by the remaining discarded toner.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

- [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
- [Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑲ 日本 国 特 許 庁 (J P)

① 特許出願公開

@ 公開特許公報(A) 平2-100081

⑤Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)4月12日

G 03 G 21/00

1 1 3

6605-2H

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全8頁)

会発明の名称 画像形成装置

②特 願 昭63-254453

②出 顯 昭63(1988)10月7日

@発明者 杉浦 充司

大阪府大阪市東区安土町2丁目30番地 大阪国際ピル ミ

ノルタカメラ株式会社内

勿出 顋 人 ミノルタカメラ株式会

大阪府大阪市東区安土町2丁目30番地 大阪国際ビル

#

仍代 理 人 弁理士 大川 宏

明明知识

1. 発用の名称

西撒形成装置

2. 特許請求の範囲

(1) を担け体上に形成された形像を粉体トナーで現像して得られる現像性を転写材に転写するとともに前記性旧特体上に残留する経留トナーを取り除き魔薬トナーとする画像形成部と、

廃棄トナー収容容器と、

魔葉トナーを該魔薬トナー収容容器の受け口に 腹送する容器外腹送手段と、

前記商働形成部の停止使所定時間遅延して前記 辞器外搬送手段を停止させる第1遅延制御部と、 をもつ適像形成装置。

(2) 像担持体上に形成された抽象を粉体トナーで現像して得られる現色像を転写材に転写するとともに前記像併特体上に製取する幾何トナーを取り除き機のトナーとする画像形成部と、

つ魔乗トナー収容容器と、

競製トナーを鉄魔型トナー収容容器の鉄受け口 に搬送する容器外開送手段と、

該容器外搬送手段の停止被所定時間建延して的 記容器内搬送手段を停止させる第2選延制御部と をもつ貨幣形成装置。

3.発明の詳細な説明

[産泉上の利用分野]

本発明は画像形成装置、 詳しくは廃棄トナーを 収容する収容容器をもつ画像形成装置に関するも のである。

[従来の技術]

世来、像銀特体上に形成された胎像を粉体トナーで現像して得られる現像像を転写材に転写するとともに的記録組持体上に規切する残留トナーを取り除き魔楽トナーとする画像形成節と、魔栗トナー収容容器の受け口に搬送する容器外散送手段とをもつ画像形成装置が知られている。

[発明が解決しようとする課題]

持閉平2-100081(2)

上記のような面徴形成は智能においては面像形成はの動作の停止と同時に容易外難送手段が停止しり、見要トナー収容容器を取り外すとき、その容易外型送手段の同口や見乗トナーが残っているため、この残った閲乗トナーが飛放しているため、作業者や周囲の環境を持してしまったがあった。

本発明は上記欠点に鑑み変出されたもので、作象者や周囲の環境を残存する魔型トナーにより汚すことのない西歯形成核質を提供することを技術課題とする。

[課題を解決するための手段]

本第1発明の商権形成装置は、際担待体上に形成された消費を紛体トナーで現職して得られる現職を整体を転写がに転写するとともに前記権担抗体上に残削する残留トナーを取り除き原要トナーをする面像形成部と、施菓トナーを設定更トナー収容容器の受け口に搬送する容器外搬送手段と、前記画像形成部の停止使所定

画物形成型が停止する。この簡素1 種紙 割割却が 働き容器外限送手段はさらに所定時間作動する。 この時間内に容器外散送手段で搬送中の廃棄トナ 一は全て収容容器に収納される。そして所定時間 が経過し、容器外散送手段も停止する。

時間建成して的記容器外数送手段を停止させる類 1 選延制物部と、をもつことを特徴とする。

[fr m]

本部 1 発明の 画像形成装置では、その画像形成部の作動中は容器外で送手段も同時に作動し、 画像形成都より見吸トナーが排出される。そして 排出された 原来トナーは容器外報送手段により 虎坂トナー収容容器に 散送される。 画像形成が終了し

本発明の画像形成袋盤の実施例として電子写真式複写機について説明する。

上部本体1aにはその上面に原稿を収置する原稿台ガラス7が第18の左右方向に移動可能に設置されている。又、この原稿台ガラス7上の原係を照明する光数8と、その反射光による函像を録光が10において前記感光体3の表面に投影する
集束性伝送体アレイ9が設けられている。

下部本体 1 りにおいては、第 1 図の左右方向ー 増削に、通紙軽路 1 1 に用紙を 1 枚づつ送り出す

持閉平2-100081 (3)

給超部12が配設され、この用紙を前記感光体3の回転と同期してその内内かって知道的記憶がある。 イミングローラ13が設けられている。前記感光体3の下端に対向するように転写チャージャ14が配設され、それらの間に転写部15が形成手がれている。前記過紙軽出ローラ17が配設され、下下には定着部16、排出ローラ17か配設けられている。 の保気ファン19が設けられている。

そして、感光体3の回転に伴って、感光体3の表面が前記帯電チャージャ4にて帯相され、電光間10で原始像を露光されることによって静電計像が形成され、その潜像が現像器5によってトナー現像され、略低部12から低船された用紙に転びのでで15で転写され、さらに定着部16で定義された排出ローラ17にて排出トレイ18上に排出されるように構成されている。

ここで、転写部15で用紙に転写されなかった

フォ23は第4回に示すように一幅が廃棄トナー 収容容器22の一部に係止されているスプリング 25の他場と係合している。そして、このスプリ ング25はフタ23が常時トナー受け口44を程 う方向にフタ23を付勢している。フタ23のガ イドは虎東トナー収容容器22に配設された2ケ のガイドピン24(第2回)とフタ23に作られ たガイドミゾ27により直ね的にのみスライド可 佐な様に規制されている。フタ23にはフタ23 を開閉するためのガイド実足26が設置されてお り、現像器5が本体1に装着した時に本体1より 突出したピン30と係合し、フタ23をガイドミ ソ27の方向にスライドさせトナー受け口44を 開放する(第4図)。前記搬送スパイラル42は スパイラル状の軸とそれを覆う断状物とからなり この盥送スパイラル42の本体1より突出したト ナー排出即31の下面には排出口45(第6回) があり、報送スパイラル42により報送された概 東トナーを本体1より排出する。排出口45は、 腹送スパイラル 4 2 の 筒状物 をスライド する 筒状 感光体3上のトナー像は、クリーナ6のクリーニングプレード46にてかき取られ、搬送スパイラル42(本発明の存置外階送手段71(第9回)に相当する)により、クリーナ6外部へと撤送される。クリーナ6で残留する関東トナーをクリーニングされた感光体3は、その後イレーサランプ20にてイレース験電される。

さて、ここでクリーナ6外部へと腹送された危 乗トナーは、第2回に示す現像器5と一体にされ た態楽トナー収容容器22(本体1との関略位置 関係を第1回中級粒で示す。)内へ處異される。

のフタ32(第4例)により银われるようになっている。フタ32は、スプリング33により常に排出口45を同じるように付勢され、突起323(第2例)を持ち、現象25が本体1に接替された時に飛栗トナー収容容器222の段付部222。 (第2例)と係合し、押されることにより排出口45を開口させる(第4例)。上記構成により現份数5を報替したとき廃棄トナー収容容器22ののフタ23とトナー排出部のフタ32は開放されトナー受け口44と排出口45は各々露出した役幣者する(第6例)。

以上が廃棄トナー収容容易 2 2 の外部及び搬送スパイラル 4 2 の構成であるが以下廃棄トナー収容容器 2 2 の内部について説明する。

原東トナー収容容器222の内部には、廃東トナーを搬送する散送ベルト36(本発明の容器内数送手段72(第9因)に相当する)が廃棄トナー収容容器22に根支されたブーリ38、40の間に張栗されている。搬送ベルト36には進行方向と直交する突起37が設けられており、廃棄トナ

特閒平2-100081 (4)

- の散送を確実なものとしている。 搬送ベルト36は、駆動権39 例のブーリ38 が回転することにより駆動させられる (第4 図矢印方向)。 脱型トナー収容容器 22は、4ケの重殺された限型43により5 室に分割されている。 隔54 3 は、 般送ベルト36の突起37 に当接しない程度に接近する高さまでそれぞれ立設されている。

た足動物39(第4図)とアーリ38により回動させられる。 散送ベルト36の送り速度は、現像 窓内の減速又は駆動ギア等により自由に設定でき

さらに本体1は現象機5の現象動作の停止後、所定時間違延して物送スパイラル42の回動を停止させる第1度延制節部91(第9回)と、脱送スパイラル42の回動の停止後、所定時間違近して発棄トナー収容容器22内の搬送ベルト36を停止させる第2度延制節部92(第9回)とをも

上記初節部の作用を説明する前に廃棄トナー収容容器22内の限薬トナーの観送の様子を説明す

取送スパイラル42のトナー排出部31の排出
口45より排出された廃棄トナーは、廃棄トナー
収容容器22のトナー受け口44を適って腹送ベルト36上に落下する。酸送ベルト36は第6図の矢印方向に回動しているので、廃棄トナーは、

め上方に搬送され、配乗トナー収容容器22内上 なへと送られる。収送ペルト36のUターン部に **撤送された既要トナーは廃棄トナー収容容器22** 内の偏壁43で区画された院東トナー収容部の第 1室61内に落下する。第1窯61内が一杯とな ると、第1室内に入らない鹿東トナーは再び盥送 ベルト36の実足37により、卵2至62に送ら れる。何はに、第2至62が一杯になると第3至 63へと送られ、第3至63が一杯になると第4 金64へと送られ、第4室が一杯になると第5首 65に送られる。またこの突起37のついた斑送 ベルト36は、施取トナーを各室に圧入する効果 もあり、虎頂トナー収容容器22内の陽壁43で 区面された魔変トナー収容器を有効に利用できる。 ここで、本実施例は、現役剤を補給することのな い使い始てタイプの現像器5に適用しているので、 **旋虫トナー収容部の容易は適常、現像器5内に収** おされている未使用トナー量の30%程度の容量 があれば良い。また、この隔壁43により、廃棄 トナー収容容器22内での閲覧トナーの移動はペ

ルト36とか用型43でかなり規制されるため贝 位器5を本体1より取り出して何らかの援動を与 えても昆束トナー収容容器22内でトナーの粉煙 等は起きにくくトナー受け口 4 4 より廃棄トナー が出る可能性は少ない。また、腹路ベルト36は、 突起37が廃棄トナー収容容器22の内壁の受け 口周辺即53に性く接触するように設定されてい る(弟7図)。また、第7図において突起37と 突起37の1つの間間にが受け口周辺即5.3の次 記37との接触部長さa、bに比して、a>c、 b > c の関係であるので、実質的にトナー受け口 44と履奨トナー収容郎は、搬送ベルト36で密 聞したような状態となるため、砲車トナー収容型 内の廃棄トナーが移動しても直接トナー受け口 4 4 より鹿菜トナー収容容器22外へ飛び出すこと はない。また、第8図に示す様に、腹路ペルト3 6 の 橋方両両サイドを、鹿栗トナー収容容器 2 2 の外型で狙むようにすれば更に密封性は良くなる。

次に第1遅延初回回91及び第2遅延初即即9 2による作用をフローチャートを中心に説明する。

特間平2-100081 (5)

第9回に示すように本実施例の電子写真式似で 機は面像形成部70、容置外報送手段71、規東 トナー収容容器222内の容器内設送手段72をは じめとする各部を制御する初即部90をもつ。

この 桝 即 部 9 0 は 前 1 建 延 4 4 即 部 9 1 と 第 2 建 延 4 4 即 部 9 2 と き もつ。 第 1 遅 延 4 4 即 部 9 1 は 酒 像 形 成 部 7 0 の 停 止 に 対 す る 音 常 外 遊 送 手 段 7 1 の 停 止 の タ イ ミ ン グ 、 第 2 遅 延 4 4 即 部 9 2 は 音 器 外 節 送 手 段 7 2 の 停 止 の タ イ ミ ン グ を 制 即 す る 。

次に発子写真式複写版の切卸フローを第10図 ないし第11図を参照して説明する。

イマをセットする(ステップS2)。ステテップS3では複写 関が通常の画像形成が可能であると判断的ではない。 西像形成が可能であると 力力処理 される (ステップS5)。 又、カカリップ S3において でいた (ステップS5)。 又、カラップ S3におの 理が行われる (ステップS8では その 処理 が行われる (ステップS8では その 処理 が行なわれる。 及 テップ S8では その 処理 が行なわれる。 及 テップ S8では その 処理 が行なわれる。 及 テップ S8では で の 数 型が 行なわれる (ステップ S5に戻って 機 り 返し 割 型が 行なわれる (ステップ S5)。

次に第11回を参照してステップS 7 の終了処理のサブルーチンを説明する。第11回は容器外数送手段 7 1 が逆転して停止する場合である。

まずステップ S 1 0 で一港の 被写動作 が 转了 したかどうかを 判断する (ステップ S 1 0)。 ステップ S 1 0で N oで あれば、すなわち 複写動作が 概続中であればステップ S 1 1 に 進み、フラグ F

を O に リセットし、 容器外 撤送手段 7 1 を正 転駆動する (ステップ S 1 2) とともに 容器 内 限送手段 7 2 を回転駆動させた後 (ステップ S 1 3) メインルーチンにもどる。

また、ステップS14でフラグFが1にセット されていたら、ステップS18でセットされてい るタイマT , が終了したかどうかを第1遅延初即 図91により判断する。核了していれば別1遅延制御回91により容器外親送手段71を停止させ(ステップS19)タイマTIをセットする(ステップS20)。このタイマTIのセットを第2遅延制即部92が行なう。このタイマTIで設定される時間は概送ベルト36が1/2以上回転する時間である。

また、ステップS18でタイマT」が終了していないか、すでに終了してステップS19、S20の処理が行なわれていたら、ステップS21でタイマT:が終了したかどうかを架2建延初即沿92により判断する。終了していなければ、メインルーチンにリターンし、終了していればステップS22で第2遅延初即即92により容器内置送手段72を停止させた後、メインルーチンにリターンする。

なお本実施例のステップS 1 5 において容器外胞送手段 7 1 を逆転しているが、正転させてもよい。そうするとステップS 1 7 で設定されるタイマエ」の時間は腐臭トナーが容器外胞送手段 7 1

特閒平2-100081 (6)

内より排出口45へ全て腹道されるまでの時間となり、容器外散送手及71の排出速度に応じて決められる。

上述してきた実施的においては、魔鬼トナーの 開送はスパイラルタイプで行ってきたが、本発明 はこれに限定されるものでなく、スクリュータイ ブ、コンペアタイプなが適用できる。

(効果)

本発明は画像形成部の停止を所定時間を延延して容器外間送手段を停止させることにより、容器外間送手段を停止させることにより、容器外間送手段に残留する鬼型トナーはほとんど鹿型トナーの間がでは魔型トナーはほとんど短留していないため、魔女トナーが飛放したりこぼれたりすることがない。

また施東トナー 収容容器に容器内線送手及を設け、容器外腹送手段の停止後所定時間遅延して容器内腹送手段を停止させることにより 純梨トナー 収容容器の受け口付近にはほとんど廃棄トナーが

残留せず、容器内の肉に関送された状態で使薬トナー収容容器の取り外しができるため廃棄トナーが飛散したりこぼれたりすることがなく作業者や 周囲の環境を持してしまうことがない。

4. 図面の簡単な説明

1 … 本体

2 … 鴟光体ユニット

3 … 感光体

5 ... 19 60 151

6 … クリーナ

22… 廃東トナー収容容器

3.6 … 板送ベルト 4.2 … 搬送スパイラル

4 4 … 受け口

70…直悔形成部

7 1 … 容器外数送手段

7 2 … 容器内置送手段

9 1 … 第 1 建延制物部

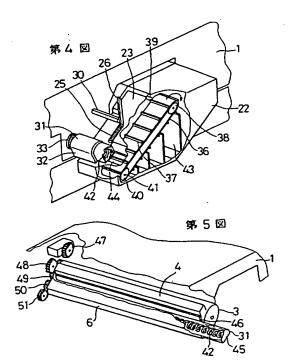
9 2 … 第 2 度 近 刻 砌 邸

特許出版人

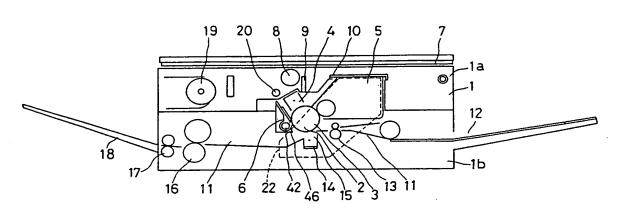
ミノルタカメラ株式会社

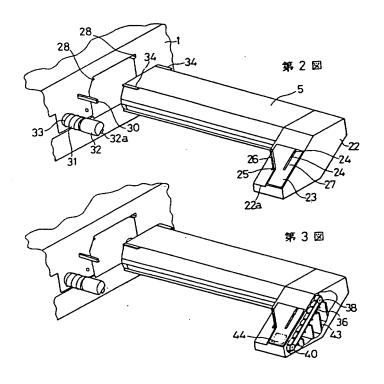
人取入

弁理士 大川 宏

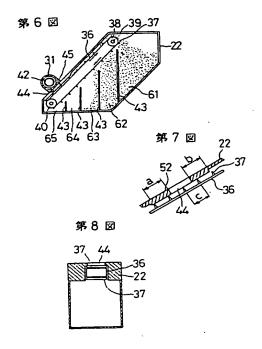


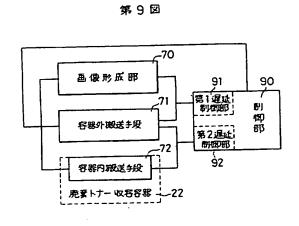
第 1 図

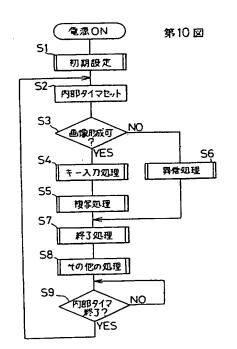


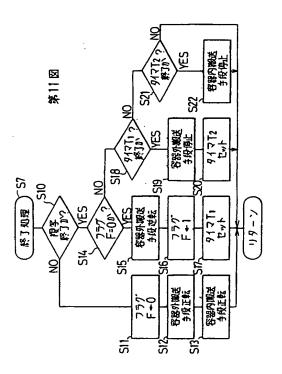


持爾平2-100081 (8)









This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.